令和2年度 第1回 総合教育会議 会議録（要約）

期 日	令和2年8月20日（木）13時30分から15時00分
場 所	雲仙市役所別館 3F 会議室2
出 席 者	市長 金澤秀三郎市長 教育委員会 下田和章教育長、前田眞一教育長職務代理者 中村妙子委員、森下祐樹委員、仁禮智加子委員
事 務 局	市長部局 松橋総務部長、松下政策企画課長 上田政策企画課参事 教育委員会事務局 富永教育次長、小松総務課長、草野学校教育課長 堀田生涯学習課長、加藤スポーツ振興課長 森田総務課参事補（記録）

会議日程

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 議事
 - (1) 成人式のあり方について
 - (2) 小・中学校における携帯電話の取り扱い等について
- 4 その他
- 5 閉会

【13:30 開会】

1 開会

2 市長あいさつ

金澤市長 県内でも再び感染が拡大しつつある新型コロナウイルス感染症により、雲仙市内においても、各種イベントの開催が見送られるなど、市民生活にも大きな影響が出ている。今回のテーマでもある成人式についても、開催の可否や方法において憂慮しており、忌憚のない意見を賜りたい。

3 議事事項

市長の指名により富永教育次長が議事進行を行う。

議事 (1) 成人式のあり方について

※事務局から、(1) 成人式のあり方について説明する。

富永教育次長 今の説明について、成人年齢の引き下げと成人式のあり方について意見はないか。

仁禮委員 高校生と19歳の方にインスタグラムを通じてアンケートをしてみた。調査の結果は、20歳で成人式をした方が良いとのことだった。20歳になると大学生や社会人になり同窓会の意味もあると思う。18歳だとセンター試験など時期的に難しいと思う。20歳で成人式をした方が良いと思う。

森下委員 成人式は今まで通り20歳で開催した方が良いと思う。先ほど意見があったように18歳で行うと色々な弊害があるように思う。確かに法改正で成人年齢が引き下げられ、色々な面が変わってくると思うが、あくまでも成人式は、そこにはこだわる必要はないように思う。

どこの地区も同じだと思うが、成人式の後に同窓会が開かれた時にやはり、高校卒業後、1回地元を出て帰って来る方が良いのかと思う。参加人数も年々減少傾向にあり寂しさもあるが、20歳で開催した方が良いと考える。

中村委員 式典については、20歳で良いと考える。昨今、高校進学率も100%近く、高校も義務教育的な対応をされている中で、18歳を迎えた時に自分の目標であったり、生き方だったりを見据えられているのかなと思う。残りの2年間は基礎的な知識の延長で社会的な行動スキルを更に高めていくというような期間で、将来の自分の生き方を見据えられる、自覚を持った自分の意義を身に付けた段階での式典というのがより有意義ではないのかなと考える。

前田委員 20歳が望ましい。譲っても19歳なのかな。18歳は進学・就職準備等でバタバタしている状況だと思う。実際は18歳から成人と言っても1月に成人式をすると3月生まれの方はまだ18歳になっていない。17歳の方が含まれる中で行うのはいかがか。

下田教育長 皆さんがおっしゃられたとおり、現実的に18歳の成人式を今のような形式で行う事は難しいと思う。今ある成人式の目的は、成人としての自覚をしっかりと意識させる事が目的であるだろうと思う。既に選挙権等が18歳になって、国民としての義務を課す責務があることは自覚されているだろうと考えるが、今後は成人式という名称に拘らなくても、例えば、今まで通り20歳が望ましいのであれば「20歳の集い」など自分たちが自主的に運営する形に変えていくとか、そういう風になっていくべきだろうと思う。今、皆さんが言われたとおり18歳は現実的ではないと考える。

金澤市長 仁禮委員はインスタグラムでアンケートとあったがどのように作られたのか。

仁禮委員 インスタグラムのアンケート機能を活用した。19歳以下が15名ぐらいとその保護者が50名ぐらいから回答があった。

金澤市長 中村委員から話があったように成人式のあり方に対する考え方がある程度整理されたうえで、成人式をどうするのかというのが本来あるべき姿だと思うが、現実的に考えると、資料にもあるが令和5年の1月に1,120名の成人式をどのように開催するのかとなってしまう。現実問題としてできないのかなと。仮に令和5年1月4日の18歳とすると高校生がやはり多いのだろうか。その時点の高校3年生は、だいたい全員該当するのか。

堀田生涯学習課長 高校3年生が多い。基本的に全員該当する。

金澤市長 先ほど前田委員や下田教育長が言われたように19歳をどうするのか。次の段階で課題になると考える。もう一つ聞きたいのは、いわゆる「方針」は来年度決定してお知らせするというのは、行政の流れでいくと他の自治体も一致する事なのか。

堀田生涯学習課長 既に先行して決めている自治体もあるが、隣接市を見ると来年度決定というのが流れのように思う。

富永教育次長 生涯学習課では、保護者の準備期間をどのくらいと想定しているのか。例えば20歳ですのか、19歳ですのかという事を決定した場合、晴れ着の準備の期間など逆算してどのくらいまでに方針を決めるべきだと現時点で分かるか。

堀田生涯学習課長 例年5月頃には問合せがある。晴れ着は前撮りを夏頃にはされているという事を考えると1年前から準備が必要になる。18歳となれば前年の17歳の段階では方針を決めるべきであり、例年であれば8月に周知をしているが、方針は1年前には決めべきと考える。

富永教育次長 その点で委員から意見はないか。準備をするために例えば19歳でするか、20歳でするのがまだ今の段階で雲仙市は決まっていない。20歳だろうとの意見ではあるが、準備や連絡体制という観点から意見はないか。

仁禮委員 テレビでは、例えば3学年同時ですると着物や着付けが混み合うので止めてくれとの報道もあった。もし、18歳、19歳で成人式となれば早めに準備に取り掛からないと年子の家庭もあり負担も大きくなるので早めに方針を決めて欲しいと思った。

森下委員 自分の子も今年から大学生になり、講義はリモートで受講している。実際、成人式の年齢を下げられると準備でバタバタする。下田教育長も言われたように今は成人式という名称で、ほぼ行政主導で開催されているが、可能ならばもっと新成人に参画して、個性を出して進めて欲しいと思う。そう考えた時に年齢引き下げをした場合を考えると、行政主導の準備など何もしなくて良いような成人式になるのはどうかと思う。対象年齢が18歳になるとほとんど準備には参画するのは難しいので内容はほぼ式典のみになるように思われるので、成人式開催は20歳だと、18歳から20歳の間を経験した事が活かされるように思う。

富永教育次長 ほかの委員の意見はないか。

全委員 なし

富永教育次長 20歳が一番望ましいとの事なので、事務局としては民法の改正、また、各種影響も考慮して、適切な時期に方針の決定をしたい。それでは、令和3年度の成人式について事務局から説明をお願いする。

※事務局から、新型コロナウイルス感染症を踏まえた令和 3 年度成人式の開催について説明する。

富永教育次長 今回の説明について、会場を 3 会場に分散し開催する案について委員から意見はないか。

中村委員 できるだけ開催して欲しいと思う。方針の中に「県境をまたぐ若者の帰郷」の記載があるが、現状どのように流れるか不安ではあるが、できるだけ、開催の方向で検討して欲しい。式典の内容は事務局で検討したもので会場は、3 会場に分散した方が良いと思う。

前田委員 開催して欲しい。内容は事務局提案の内容で十分だと考える。会場は 3 会場分散が良い。会場には今まで成人者以外の方も多く来場されていたので絞られて良いように思う。

仁禮委員 3 会場分散が良いと思う。ただ、保護者が入られない事は不満がある方は多いと思う。送迎で保護者は多く来ると予想されるので会場の外でも密にならないように配慮が必要のように感じる。

森下委員 3 会場分散で実施が良いと思う。現状、この先新型コロナウイルス感染症がどのような状況になっているのか不明で、どの程度になった時に判断するのも難しいように思う。成人式は密にならないような配慮がされていると思うが、心配なのは、その後の同窓会だ。準備の段階で注意喚起を各地区成人者の代表等を通じて行う方が良いと思う。その辺の細かい部分も詰めて今年の成人式になろうかと思うが、色々な所でイベントが中止になって、新型コロナウイルスは本当に全ての人に影響を及ぼしている。何か 1 つでもという気持ちで、新年早々の成人式も無くなると、気持ち的に落ち込むので万全の対策を施して是非実施できればと思う。

下田教育長 このことについては、4 月から生涯学習課に課題として考えるように指示をしてきた。気持ちとして一番は、何とか開催してあげたい。今まであった成人式と同じ形でなくても、成人を迎える方のためにも開催してあげたい。心配しているのは、3 会場に分散した時の人数で、新成人を迎えられる方の約半数以上が市外在住者である点で、専門学生など住所を残したまま実際は市外に住んで居る方も市内在住者に含まれる。今年の夏のような移動制限があるような状況になれば中止も視野に考えていく必要がある。3 会場分散の人数はあくまでも対象者が全員来場した場合で、新型コロナウイルス感染症の状況で参加を取りやめる方も出て来る可能性はある。もし、そうなれば参加者数は減少するので、保護者の方の来場の希望に添える場合も想定されるし、他の来賓も考えられる。他の委員の実施して

あげたいという気持ちは受け止めて考えていかなければならない。

金澤市長 教育委員会事務局から最初話を聞いたときは、1会場でもできないという事ではなくて、午前と午後に分散するのは難しいので、結果としては3会場分散して開催するしかないのではとの判断をした。思い出のアルバムも地区ごとの編集をするということで影響はない。送迎の保護者が式典会場に入れない事が気にかかっている。下田教育長の話聞いて思ったのは、仮に新型コロナウイルス感染症の状況で中止と判断せざるを得ないと判断するタイムリミットはいつ頃か。

堀田生涯学習課長 当初11月までには判断したいとしていたが、やはり開催してあげたいのでタイムリミットは設けていない。

金澤市長 成人式の中止は、関係者に直接連絡する事は可能か。

堀田生涯学習課長 住所は把握しているので連絡は可能。

金澤市長 その辺をもう一度よく整理して欲しい。

富永教育次長 令和3年の成人式について補足意見はないか。

前田委員 成人式オンライン配信とはどのような事か。

堀田生涯学習課長 今年のお盆に東北各地で成人式があり、リモートでされている自治体もあった。今、ひまわりテレビと協議をしているが、可能ならば、市長の挨拶等リモートで会場間を繋ぐ事や、式典に参加できない遠方の新成人にもインターネットで成人式を配信可能か研究している。

森下委員 成人式を開催するにあたって、関係者でない少数の方は、中には開催することに異なる意見を持っている方もいると思うのでその辺りも念頭に置きながら準備をする必要がある。

富永教育次長 成人式のあり方について貴重な意見をお聞きしたので、今後の成人式に活かしたいと思う。

議事 (2) 小・中学校における携帯電話の取り扱い等について

※事務局から、(2) 小・中学校における携帯電話の取り扱い等について説明する。

冨永教育次長 今の説明について、意見はないか。

仁禮委員 災害時の緊急連絡や防犯上の理由から学校に持ち込みたいとの意見もあるが、持ち込み条件を 100%守れるのであれば、携帯電話を持ち込むメリットも大きいと思う。ただ、子どもが条件を 100%守ることは難しいように思う。中学生の自分の子も最初は家庭でルールを決めたが、守らせるのは大変だ。ルールを守らせることは難しいし、持たせるデメリットも大きいので持たせない方が良いように思う。

森下委員 自分の家庭では色々な面で必要なため高校生から持たせている。高校でも条件が複数あり、校内では基本的に学校預かりとなっていた。自宅では利用可能時間を決めていてもほぼ守れない。フィルタリングに関しても最初は設定していたが、途中、携帯電話のトラブル等あった時に初期化され、フィルタリングされていなくなったりする。子どもは操作に慣れるのも大人より早く詳しいため抜け道を探すこともできる。メリットよりデメリットの方が断然多いように思う。個人的な意見だが小・中学生に関しては必要ないと思う。学校の管理が大変だと思う。保有する機種に関しても差が生じて色々なトラブルに繋がると思う。

中村委員 携帯電話については、決して反対ではない。きっと、今後 10 年間で子供たちが学校内に G I G A スクールで色々な端末が入って来ると思うが、個人の携帯電話も活用した授業も進むと思う。ただ、今の時点では時期尚早かなと思う。これから先、I C T 教育の推進が進むと、教育委員会含め大人が、子ども達がコンピュータやスマホを扱う事、使いこなす事に対応していかないといけない。大人がきちんと指導して必要性や緊急時にきちんと活用・対応できるような自立心を育てた時に初めて子ども達の手元に置いて良いように思う。I C T 活用は諸外国に遅れをとっており、きちんと対応できる子どもを育てることが教育者としての課題だと思う。

前田委員 皆さん言われたように問題点が多いように思う。授業への支障は大変だと思う。いじめの点でも心配。I C T に長けた先生を入れてもその先生に頼るだけではなく、担任もしっかり関わらなければならず負担が増える。保護者にも金銭的負担にもなる。携帯電話は誘惑が強く負けてしまう。教員時代に頭髪の自由化の波が中学校に押し寄せた。そのためか、多くの学校は荒れた。荒れた学校を元に戻すには相当の時間と労力が必要になる。携帯電話持ち込みを安易に認めると学校が荒れるのではないかと予想している。授業どころではな

くなる。文部科学省が携帯電話持ち込みを認めたので、学校関係者・保護者含めてみんなで取り組まないと取り返しのつかない事態になると思う。

下田教育長 今の市内の学校の状況について事務局から説明を求める。

草野学校教育課長 市内の学校については、携帯電話は原則持ち込み禁止。その上で、理由があり校長の許可があれば一定の条件の下で持ち込みを認めている場合もある。例えば、遠距離通学で途中で必ず親が迎えに来なければいけないケースなど理由があって数件認めている学校がある。

下田教育長 特別な事情があり学校への持ち込みを既に許可をしている学校もあるような状況であって、整理したいのは、学校への持ち込みに対してどうかという点と、子どもが携帯電話やスマホを持つ事に対する意見の二つの面があると思う。学校への持ち込みは文部科学省が対応を変えた事や大阪府教育委員会の事例など、子どもの安全を前面に出した場合に、それをノーとは言えない。大阪府教育委員会も登下校に限ると言い方をしている。後は学校と保護者が協力をする事が筋となっている。安全性を担保するという点では、学校内や授業中は預かるなど、登下校だけ使えるような認め方をせざるを得ないように思う。認めた場合に校内での紛失や破損したときの保障の問題も整理が必要だ。もう一つ、今後、子ども達にICT機器を持たせる事になるので雲仙市統一ルールがあるが、家庭で守れるのかは親の責任だと思う。学校への持ち込みをどうさせるのかという面と、子ども達が端末を保有する事に対して二つの面から関わっていく必要があると考える。

金澤市長 文部科学省の方針に従わないといけない罰則とかあるのか。

草野学校教育課長 文部科学省はあくまでも依頼のレベルなので必ず従わないといけないとか罰則があるとかそういう訳ではない。

金澤市長 雲仙市教育委員会が方針を決めるとなればそれが権限が大きい決定になるのか。

草野学校教育課長 その通り。設置者という事で。

金澤市長 学校外の子ども達を守るルールを作る事は、学校教育の中で過去に事例があるのか。

前田委員 過去の事例ではないが、一般的な決め方として考えられるのは、生徒総会で基本的なことを決めて、職員会議で協議し、最終的に学校長の判断で決めるやり方かと。

金澤市長 実質的には携帯電話の持ち込みについて、生徒を交えてルール作りをすると、100%持ち込みを認めるような事になるのか。

草野学校教育課長 子ども、保護者、学校間でどこまでルール作りが出来るかは不明であるが、ルールを決めたらその通りにできる。

金澤市長 経済的な理由で携帯電話を持たせられない家庭は一定数あるのか。

草野学校教育課長 高価な物になるのでそういう家庭は一定数あると思う。現在の所持率が6割であるが、あえて持たせてない家庭や買ってあげられないなど事情は様々だと思う。

富永教育次長 今からのICTの時代には子ども達にも触らせなければいけない。しかし、自分を律することができない子どもがいる状況の中で、どのような携帯電話との付き合い方が必要かとのことだが、他に意見はないか。

下田教育長 一番心配されているスマホ・携帯電話の活用方法について、これまでも教育委員に報告させていただいたとおり、生徒指導上の問題は全て、スマホ、携帯電話、タブレットに起因している。そこは間違いない。教育委員会としては子ども達に情報モラル、マナーを育てていくか大きな問題だと思う。また、教育委員会でも学校への持ち込みと使い方については踏み込んだ指導が必要になる。

富永教育次長 他に意見はないか。

全委員 意見なし。

富永教育次長 子ども達の情報モラルの教育、徹底が必要だという事だったが、これからICT教育が進む中ではどうしても携帯電話との付き合いは欠かせない。その中で子ども達にどういった付き合い方をさせていくか課題になるので今後とも意見を頂戴することがあるかと思うが協力をお願いします。

以上をもって、令和2年度第1回雲仙市教育総合会議を閉会する。

【15:00閉会】